（別紙１）

従業者向け　児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
「はい」又は「いいえ」のどちらかに〇を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16	1	・定員を調整してからかなり広く教室を使うことができるようになった。肢体支援の多いクラスでも十分な広さを確保することができている。 ・部屋の広さやプレイルームの広さは適切だと思う。もう一部屋ぐらい自由に使える部屋があるとクールダウンなどに使えて嬉しい。 ・クラスごとの人数が減り、大きすぎず良い。ただ、子どもの体格が大きくなり、７人を超えると部屋が狭く感じる。また、動きが激しいくらすだと同様に思う。 ・発達年齢を考えながらクラスも分けられているため工夫されていると思う。 ・遊びやすいスペースではないかと思っている。 ・日常の療育では適切であると思う。夏の暑い日や雨の日など外に出られない時、検査、会議などでプレイルームを使用する時などは、子どもが遊べるスペースが足りないと感じることがある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	3	・クラスによって子どもの人数が分けられているため、発達段階に合った療育を提供できると感じる。 ・個別支援が必要な場合、補助職員が足りない場面もある。また、担任が抜けることでクラス運営が円滑でない様子も見受けられる。 ・子どもの気持ちが不安定になったり、散歩や園外に行ったりする際には、フォローを下さりありがたい。 ・通常のクラス運営では適切でも、行事や学年分かれての活動、園外活動の時には、もう一人職員がほしくなる。今年はフォローで職員が入ってくれることが多かったため、助かった。 ・固定の職員が3名いるため、安定しているクラスは安定しているため工夫されていると思う。・職員の欠員や子どもが安定しない場合に職員がもう少し欲しいと思うことがある。 ・行事や活動によって配置が欲しい時がある。その際児発管に相談することで対応してくれるため非常に助かっている。 ・園外保育など、活動の内容に合わせてフォローの職員が付くことができている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	2	・バリアフリーで職員、こども共に過ごしやすい環境である。 また、会議室や休憩スペースもあり現場以外の環境も整っていると感じる。 ・配慮されているが、電話、電気やエアコンなどのスイッチ、床暖房等が子どもの手の届く高さにあるため、スイッチを押して遊んだり、最後に確認しているが、ついたままになったりしてしまうことがある。 ・子どもの手が届く位置に鍵があったり、火災報知器があったり、もとの建物の構造的に危険を感じることがある。 ・エレベーターや手すりなど設備されているため、工夫されていると思う。 ・障害を感じた際にはすぐに相談できるため、いろいろな配慮ができていると思う。

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	2	・掃除を毎日分担して行っているため基本的に清潔的で、子ども達も過ごしやすくなっている。ただ、運動マットや跳び箱の布部分等の洗濯が難しい布製品は、ダニの繁殖や劣化が心配な物もあるため天日干ししたり新しく購入を検討したりして清潔に保てるようにしている。 ・清潔に過ごせている。 ・職員が毎日清掃を行い、空間を整備する工夫を行っていると思う。 ・部屋によって広さや床暖の有無などがあり、裸足の子どももいるため設備してほしいと思うことがある。 ・朝や帰りに落ち葉拾いをしてくださったり、テラスは毎日拭くようになったりした。生活空間は清潔であるが、あまり使わないシャワー室、教材庫の掃除もこれからは視野にいれていきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	12	5	・個別対応が必要な際には、プレイルームや玄関にある図書コーナー等クールダウンできる部屋もあるため困ってはいない。雨天時や本園での大きな会議の際には、困ることもある。 ・雨の日等でも過ごすことができる場所（体を動かす場所）が増えてくれると嬉しい。 ・子どもがクラスの部屋にいられなくなった際に、居場所がなく廊下やテラスを散歩することがあった。 ・プレイルームとして使用している。遊び場があることはありがたい。 ・クラスによっては個別の部屋を使うことができるため個々に合わせて工夫されていると思う。 ・子どもの状況に合わせて部屋を移動したり、落ち着くまでクールダウンに部屋を離れることが認められていて工夫されていると感じる。 ・その都度空いている場所を確認している。 ・別の場所に行くことで、気持ちを落ち着けたり切り替えたりすることができている。
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15	2	・常勤、非常勤関係なく業務改善に参加、発信できるようになっていると思う。 ・個々やクラス内で振り返りを行っている。クラス運営としてはできていたと思う。 ・クラス会議等を行い業務改善の工夫を行っていると思う。 ・時短職員の時間によっては上手くできないときがあったりする。 ・改善を行ってくれて有難いが、目標は何かが明確ではないと感じることがある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	2	・できていると感じる。評価表だけでなく、送迎時に直接話せる時間もあるため、保護者からいただいた意見を児発管、園長、管理者に共有しその都度改善に繋がる話し合いに努めている。 ・地域園との交流や、保護者同士の関わりなど、以前に比べて少なくなったように感じる。 ・保護者に意向を把握する機会を設ける工夫がされていると思う。 ・結果をどこに、どのように行っているかが分からないことがある。忙しい中、表にまとめて会議で教えてくださっている。全体で周知できることは良いと思う。

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	3	・意見が発信できる機会を、会議やアンケート等で設けているため、従業員としても相談しやすい環境である。数年かかっても現実的に改善が難しいものもある。 ・もう少し意見を伝えることができる機会（方法）があればよりいいと思う。 ・今年度は年度初めに面談があり思いを伝えることができた。教務改善につながっているかは年度途中では難しいことも多く不十分。長い目で見て改善していって欲しい。 ・意見を聞かれる場面が少なかった。 ・意見を把握する機会が設けられていることは工夫されていると思う。 ・いつ機会が設けられて結果をどこに、どのように繋げているかが分からないことがある。 ・現場の意見を聞いてくれ、検討してくれている。有難い。 ・今年度は、第三者的な立場の方の面接があり、職員が意見を上げやすかったのではないかと思う。就業規則や給料規定などの処遇改善に繋がっていると思う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	6	・第三者による評価や研修は行っているが改善に繋がっていない。 ・外部の方が評価してくれる場面はある。クラスとして関わることは少ない。 ・第三者からの評価も行われていて工夫されていると思う。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	17	0	・業務時間内の定期的な研修によって資質の向上を促していると思う。任意の研修も提供はされているが、勤務時間の関係等で参加できない職員も多い為もう少し配慮されたら嬉しい。 ・新人指導に当たって、指導職員、新人職員共に園長（主任でも可）と話をする機会を設け、指導に当たっての相談や経過を今以上に共有した方がいいのではと思う。また、新人職員もクラス職員に言えない悩みがあるかもしれないため、双方のためにも情報の共有が必要だと感じる。 ・研修に参加させていただくことができた。 ・定期的に研修を行う機械が設けられている。研修内容も、子どもと関わる上で必要な内容になっていると思う。 ・研修は行われていた。参加することが有難い。 ・定期的に研修が行われているため、工夫されていると思う。 ・定期的に研修が行われているが、業務上時間的に参加したくてもできない時がある。 ・受講するアンケートを取ってくれたり、職員会議の短い時間でも研修をしてくれる。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	17	0	・子ども達に合わせて支援プログラムは作成されていると思う。 ・ホームページに公表されている。 ・その都度皆で話し合って作成している。

	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	17	0	・できていると感じる。児発管が細かくチェックしてアドバイスをくれるため、アセスメントや津守式発達検査に沿った支援計画を提供できていると思う。 ・よく話し合いが行われている。 ・不十分なところはまだあるとは思うが十分話し合いを行っている。 ・保育者の感覚だけではなく、アセスメントシートを記入することで、より子どもについて理解したり、振り返って計画を立てれている。 ・クラス間で話し合いアセスメントや面談での聞き取りを行ったうえで支援計画の作成が行われていると思う。４月のアセスメントは姿が分かりにくいため、分析しにくいことがある。 ・津守式発達検査を行ったり、子どもの様子をアセスメントし、取り組んでいる。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	17	0	・クラスを超えて支援計画を周知する工夫は必要かもしれない。 ・話し合いを行いクラス職員が作成したものを、児発管にチェックしてもらい、必要な所は修正、立て直しをしているが、納得できる。 ・職員間で話し合い児発管などと子どもにあった計画を作成することができている。・もう少し余裕を持って話し合いができる場があるといいと感じることもある。 ・クラスで共有して作成している。支援では子どもの強みを探して伸ばせるよう話をしている。 ・児童発達支援管理責任者とクラス職員で、子どもの様子を捉えながら共通理解のもとで検討できていると思う。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17	0	・行われていると感じる。職員同士で個別支援計画の目標を共有し、日々の中でも意識した取り組みが行われるように努めている。 ・目標のために活動に取り入れることもあるが、普段の生活の中で見やすいものが目標になっていると思う。 ・職員同士で話し合いながら支援計画に沿った支援を行うようにしていると思う。・他クラス間での支援計画等の共有は難しい部分がある。 ・日々子どもたちの支援計画を見直し、場面ごとで職員同士支援計画を見直すことができている。 ・日々の生活の中で取り組めることを行っている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16	1	・津守式発達検査を実施する際に、細かく確認する機会になっているのではないか。日々の行動、ケース記録や所見からも確認できる。 ・日々確認している。特に月末にはその月のことを振り返っている。 ・日々の行動観察からアセスメントや津守の発達検査を用いて確認を行っている。津守の発達検査では図りきれない子どもの発達があるように思うことがある。 ・ほのぼのをつかって領域にそって記載はしているが、この質問に適切なのかわからない。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	17	0	・全体研修で「児童発達支援の提供すべき支援」を確認し、資料でも見直しができるため、計画書の作成時には意識して取り組んでいる。クラス職員と児発管とで相談し合いながら支援内容を決定している。 ・資料が手元にあり、参考にしながら行えている。 ・職員間で話し合い５領域でアセスメントを行い支援計画に活かし、一人ひとりに応じて具体的な方法を示していると思う。 ・他クラス間での具体的な支援内容は共有することが難しいと思う。 ・毎回記載している。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	17	0	・行っている。 ・週案の細かい所は担当が行うことが多いが、事前のプログラムはクラスで考えている。目標など明確にして取り組んでいるかと言われるとまだ不十分だと思う。 ・クラスで話し合いを行っている。その週をどう過ごすかはその週の司会職員にゆだねている。 ・リーダーを中心に立てることができている。 ・クラス内で子どもたちの発達に合わせた活動プログラムを日々話し合って決めることができている。 ・行事などの活動について、関わる学年全体で話し合うことができている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	2	・なんとなく同じ活動になってしまことが多いと思う。 ・ことばや運動、音など大きな項目をわけることで様々な取り組みを意識して活動計画を立てている。季節や行事に応じた活動の中で、インクルーシブを意識した活動も行っている。 ・時期にあったことや、子ども達の好きなこと、見たい姿を元に設定している。 ・子どもの発達段階に合わせてプログラムを職員間で話し合い工夫して計画を立てている・同じプログラムでも様々なことを経験 できるように工夫して行っている。 ・工夫も見られるが、まだみんなで考えていく必要があると感じる。 ・子どもの成長から活動プログラムを検討している。 ・日々の活動内容が少し固定化しているように思う。発達段階に応じた活動内容、少し先の将来を見据えて目指す姿や身に付けたいスキルなど、職員で話し合う機会を設けていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	17	0	・クラスのこどもの様子によって差がでる内容だが、ニーズに応じた支援ができているのではないかと感じる。 ・こどもの様子を日々確認、それぞれの目標と確認している。 ・子どもの発達段階に合わせて活動内容を考え、個別活動と集団活動を行えるようにしている。 ・子どもの姿からどこまで集団活動を取り組めると良いのか時間、活動など様々な角度から考えて取り組んでいるつもりである。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	2	・出来ている日もあれば、出来ていない日もあった。連携ができてくると、つい確認を怠ってしまう日もあるため、毎日確認するようにしていく必要があると感じた。 ・必ず打ち合わせをしているわけではないが、連携はその都度取っている。 ・日々職員間で週の司会の担当が活動内容の流れや役割分担方法など細かく話し合い共有するように努めている。 ・９時前には今日の活動の内容を週のリーダーから話がある。予測行動も話し合っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	14	3	・終了後はその場で「○○だったね」や「今度はこうしてみよう」等と感想を言い合っている。打ち合わせというほどではないが、常に気づきの共有はするように努めている。 ・必ず打ち合わせをしているわけではない。振り返りをして、気付いたことをその都度話し合っている。 ・その日の様子や支援内容について話し合い振り返りを行うことで情報共有を行っている。 ・会議や研修等で行うことができないこともある。

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16	1	・ケース記録やヒヤリハット記録を通して、改善に努めている。 ・毎日記録を書いている。月末に確認やまとめをしている。そこでその月を振り返ることができる。 ・ケース記録を記入し、改善点なども話し合いながら支援内容を模索し取り組むようにしている。 ・必ず記録はとっている。 ・日々の様子を記録できているが、支援の検証をする機会は少ないと思う。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	1	・大きな見直しは、書類を通して年に3回行っている。日々の中でも、クラス職員で支援計画内容に関する意見や改善提案を話すことも多い。 ・見直す機会が少ない。クラスで定期的に確認する時間を作らないといけないと思う。 ・前期は３ヶ月ごと、後期は半年ごとにモニタリングを行い、見直し振り返りをしながら子どもの成長につながる手立てを行っている。 ・定期的に話し合いを行いながらモニタリングを行ない、その都度アセスメントや津守式発達検査の見直しを行い支援計画についても見直しを行うようにいている。 ・職員の間でも見方が違うため、その都度話し合っている。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	2	・対象児の子どもについてそれぞれが話すことができ、子どもの姿について共有できている。 ・児発管やリーダーが参加し、状況や子どもの姿などについて共有している。 ・いつどのように行われているかは分からないことがある。 ・忙しい中、子どもの様子を見に児発管はよくクラスに足を運んでくれているため、こどもの姿を理解してくれている。またリーダーも参加している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	6	・地域と連携しているかどうか現場の職員は分からない。 ・リハビリに通っている子どもが多い為、リハビリの内容等をもっと知れると良いと感じる。 ・リハビリに通っている児に関しては保護者からどのようなことを行っているのかを聞き取っている。 ・もう少し情報交換をして連携できると良いと感じる。 ・日々の様子を記録できているが、支援の検証をする機会は少ないと思う。 ・保健、福祉の関係機関とは連携が取れていると思う。医療機関との連携はまだ足りないと感じる。入園時や園でより良い支援を考えていく際に、診療情報や専門的な知識が聞けると良いと思う。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	5	・インクルージョン推進の施設のため、常にインクルーシブ教育をよりよく進めていくための配慮がされていると思う。 ・移行する児が少ないため分からないこともある。 ・他園とのつながりはあまり感じられない。保育部との関わりも今よりも機会が増えたら良いなと感じる。 ・地域園に移行する児は少ないが、情報共有を行えている。 ・同じ施設内の保育部とは行事等で交流する機会を設けている。 ・保育部と連携が取りながら行事などをすすめている。時間などの関係で話し合いの機会が限られ、情報共有や相互理解が難しい時がある。 ・併設している保育部と交流はあるが地域の園などでの情報共有はわからない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	17	0	・就学時の書類を担任が細かく記入し、小学校との引継ぎを行う中で、情報の共有をしていると思う。 ・資料を作成して引継ぎを行い、情報共有を行っている。 ・リーダーと児発管が主となり、小学校に向けての引継ぎの資料を作成したり、引継ぎ先の学校へ行ったりして丁寧な引継ぎを行っている。

関係機関や保護者との連携	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	13	1	・職員会議などで事業所連絡会の話をもっと聞きたい。 ・事業所で連絡会等を開催し、情報共有等を行っていることは知っているがいつどのように行われたのか内容は分からないことがある。 ・連絡会を行ってくれている。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	14	0	・外部の研修や、スーパーアドバイザーによる指導、研修を行い、障害児について理解を深められている。 ・必要に応じて外部研修に参加したり、定期的に部内研修も実施されており参加することができている。 ・スーパーバイザーからの助言をいただいている。研修にも参加している。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10	5	・上司が参加していると思うがその評価や内容は具体的にわからない。 ・現場の者は参加はないが、参加しているのは知っている。 ・管理者等が参加していおり、職員会議等で共有してくれることがある。 ・会議などで報告があるため、参加してくれていると感じている。
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	8	0	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	10	・近くの畑で地域の方と交流をしている。 ・他園のこどもと交流する機会は今年はなかった。 ・保育部との交流はあるが、その他地域の保育所等との交流はない。 ・運動会やおまつりごっこなどの行事を保育部と一緒に行っている。普段からもっと関わりをもって交流していきたい。 ・隣に隣接する保育部と行事を一緒に行ったり、園庭遊びを行ったりして互いに名前を知る機会もある。 ・同じ施設内の保育部と交流することはあるが、他の園や地域の子どもとの交流する機会はすくないと思うことがある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	2	・毎日連絡ノートや送迎の時に、こどもの様子を伝え合っている。体調や精神面での細かい内容も共有するように努めている。 ・登降園の際に話をする機会があり、日々の振り返りを行えている。毎日ノートを通して状況を伝え合えている。 ・連絡帳や送迎時に園での様子や家庭での様子について保護者と情報共有を行い定期定期に面談を行うことで発達段階や課題について共通理解を図るようにしている。 ・送迎、ノートを使用して伝えている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	6	・保護者会がなくなった現在交流が減ってきていると思う。交流は必要だと思うがその対策が十分にされているか分からない。 ・必要に応じて、情報提供はされていると思う。 ・案内を配付している。 ・ペアレントトレーニングは行われていない。 ・日々の困り感に対する助言はできていると思うが、家族支援プログラムや家族が参加できる研修は行っていない。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16	0	・入園時や進級の際など必要に応じて説明をしてる。また保護者から質問があった際はリーダーを通して説明している。 ・児発管や管理者が行っているため、現場で質問がくることがほとんどない。

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	16	0	・日々の会話や面談を通して家族の意見を聞いて、療育や日々の支援にも反映している。 ・保護者の想いを確認し、取り入れている。 ・面談の中で保護者の意向を確認したり、日々の保育で子どもの様子を把握し、職員間で日々の振り返りを行う中で確認する機会を設けていると思われる。 ・面談などで保護者の気持ちをきちんと聞くようにしている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16	0	・必ず行っている。 ・確認後に署名を頂いている。一部控えている。 ・面談の際に目標理由など丁寧に保護者に説明しながら同意を得るように努めている。 ・説明をして、サインももらっている。外国籍の方には通訳をお願いしたり、実物を見せたりして、丁寧に伝えているつもりである。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	0	・定期的な面談や、日々の連絡ノートから常に保護者の声にも耳を傾け対応できる体制を整えているため、園としてできることは行っていると思う。 ・相談に応じて返答、アドバイスを行っている。よりよく子育てができるように努めている。 ・送迎時や連絡帳などでやり取りをする中で相談に応じ、子どもについて一緒に考えていくように努めている。必要に応じて面談も行っている。 ・その都度、職員間で話をして、助言をしている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	13	・保護者同士で話をする機会がないわけではないが少ないと感じた。来年度は家族参観日を増やして保護者同士の繋がりができる場を設けていく。 ・家族参観の際にリーダーが懇談会を行い交流する機会を設けている。もう少し保護者同士で交流できる機会が設けられる場がある方が保護者も安心するのではないかと思われる。 全く行っていないわけではないが支援が足りていないと感じる。 ・保護者会がなくなったため、交流する場は減っているかもしれない。 ・保護者会がなくなり、保護者同士で交流する機会は減ったと思う。家族参観後に保護者同士が話せる場があることは良いと思う。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	0	・送迎や食事等、できる範囲のことは対応し、家庭の事情等も配慮されていると思う。 ・面談をしたり、すぐに返答できるようにしている。 ・定期的な面談に加え、必要に応じて面談を実施し対応している。 ・自分たちで答えられない場合は児発管に相談し、園長、管理者の指示を仰いで対応している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	1	・ガゼルだよりやハグノートを通して毎月発信を行っている。 ・ハグノートの写真を保護者が喜んでくれている。 ・おたよりやハグノートなど園での様子を動画や写真で保護者に分かりやすく発信していると思われる。 ・写真やお便りを発行している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	1	・取り扱いには各職員が十分に注意している。 ・気を付けている。外部に持ち出すことはない。 ・職員は十分注意する共に、入園や進級の際に保護者に説明し同意を得ている。 ・留意している。写真などはダブルチェックをしている。

	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0	・常に配慮している。外国籍の保護者とも通訳さんを通して、できるだけスムーズに情報伝達や意思の疎通ができるように配慮されている。 ・保護者とはコミュニケーションを取る機会を増やしている。子どもとは、良く見て、気付き、子どもからの要求にすぐに対応できるようにしている。 ・個々に合わせた対応をするとともに子ども合保護者の様子に合わせて意思疎通がスムーズ図れるよう関係づくり等を工夫している。 ・子どもの姿から伝えている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	13	・ガゼルとして地域住民を招待する行事は行われていない。地域と連携した活動は行われている。 ・地域住民を招待する機会はないが、年長児は地域高校や施設に行ったりしている。 ・法人では行っている。 ・ニーズに応じて園庭開放をしている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	2	・保護者様には書面を通して周知している。 ・各マニュアルを作成し、年度の初めには職員がマニュアルの確認をしている。 ・年に５回程度、感染症対策委員会を開き、話し合いを行っている。 ・嘔吐処理研修や手洗い指導、アクションカード研修などを実施し、実際を想定した研修を行っている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	0	・火災、地震、水害等の訓練を毎月行ってる。その都度、避難用具の確認や火災窓の作動確認等も行っている。不備があった際の対応は時間がかかることもある。 ・引き渡し訓練はもっと本番を想定した形に変更して行う必要があると思う。 ・今年は防災倉庫の確認、発電機の動かし方の練習、安全確認のアプリを入れるなどを行った。 ・訓練をこまめに行い、対応の仕方を確認している ・管理者から話があった。いろいろな災害が起こっているため、職員の意識向上が必要となると思っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16	0	・看護師、児発管と共に入園前に保護者に確認している。それを担任に伝え共有している。 ・確認している。クラス内でも対象の児がいたらより考えている。 ・入園前に保護者に確認を行っている。服薬に関しては、保護者に家庭で対応してもらうようにしている。 ・会議で必ず周知している。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	0	・アレルギーの代替食を提供している。 ・アレルギー児には年に１度、医師より生活管理表を記入してもらい、提出してもらっている。給食では除去を行うなど対応している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16	0	・安全計画が作成され職員間で共有している。 ・職員が動きを確認し、いざという時に動けるように確認している。 ・安全計画が作成され、計画に基づき訓練や研修が実施されていると思われる。 ・アクションカード、嘔吐処理、災害など研修、訓練を行っている。

	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	13	2	・安全計画を作成し、園内に掲示して保護者様にも周知している。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16	0	・毎月行われている。 ・毎日確認し、ヒヤリハットの記入をしている。大きな怪我がないように気を付けている。 ・リスクマネジメント会議を行い、ヒヤリハットの共有や再発防止に向けた対策を検討し、修繕が必要な場合は管理者に相談するなどして対応している。 ・ヒヤリハットについて話し合う機会が設けられ、ヒヤリハットの内容や対策がそれぞれの職員にも周知されている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	0	・定期的なセルフチェックに加え、研修も行われている。園全体で虐待に対して厳しい目を持てているのではないか。 ・それぞれが気をつけると共に、それぞれが注意できるようにしている。 ・研修の機会を設け、職員間で意見交換をしながら話し合い適切な対応を行うようにしていると思われる。 ・園長が記事など用意してくださったり、話をしてくださったりしている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	3	・現在身体拘束に当たる支援は行っていない。今後必要になった際は職員の情報共有や共通理解図るとともに保護者への説明を丁寧に行っていくと思われる。 ・十分理解はしているつもりである。